

多古病児保育所

おひさまルーム通信

令和2年7月 第2号

あじさいの季節から、太陽の光をいっぱい浴びたひまわりの季節がやってきます。
みなさんすこやかに過ごしてですか？

『おひさまルーム通信』は第2号発行となりました。多古病児保育所では、「ご利用のみなさんが少しでも早くおひさまのもとで元気に過ごせますように…」という願いを込めて、病児室を「おひさまルーム」と決めました。他に「ペンギンルーム」「ひよこルーム」があり、3室を病状に合わせて利用しています。

ステイホーム期間中は、多古病児保育所を利用される方はほとんどいませんでした。

利用者がいないのは淋しかったですが、みんな健康で元気に過ごしているという事…と安心していました。

季節の変わり目は、体調を崩しやすくなりがちです。集団生活の中ではちょっと不安かなと感じたら病児保育所にご相談ください。体調が回復し元気を取り戻していけるように、スタッフ一同で関わっていきたくと思います。

【5～6月の利用状況】

- 溶連菌感染症・・・1名
- 急性上気道炎・・・3名
- 水痘・・・・・・・・・・2名
- アデノウイルス・・・1名



【利用登録手続きについて】

利用の希望日に、スムーズに保育ができるように、**事前登録**をしておきましょう。
一度の登録で小学6年生まで有効です。
登録…多古町役場子育て支援課こども係

【多古中央病院 皮膚科山本医師からのコメント】

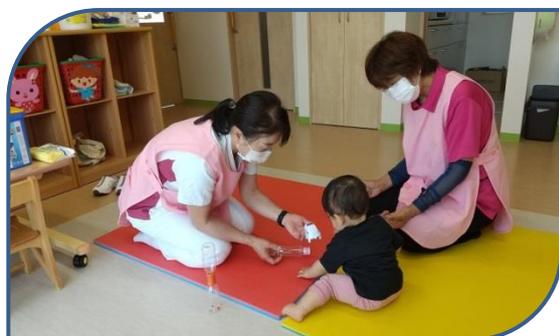
夏も本番になり、気になるのは蚊に刺される痒みではないでしょうか。

蚊に刺されやすさには様々な要因がありますが、近年、足の裏に住み着く菌の多様性に注目されています。誰しも足には多種多様の菌が住み着いていますが、これが多様である人が蚊に刺されやすいといわれています。（決して足が臭いというわけではないのでご注意を…）

予防法として、足の裏をアルコール消毒すると蚊に刺されにくくなります。このご時世、アルコール消毒液がなかなか手に入らづらいですが、一度試してみたいはいかがでしょうか。

※ 皮膚科…毎週金曜日

☆病児保育室での様子☆



熱中症

熱中症は、日射病、熱射病などの総称です。
日射病は、戸外で強い直射日光にさらされることが原因で、熱射病は室内でも気温の高い場所に長時間いたために起こることが原因です。



熱中症の症状

日射病…顔は赤く、呼吸が荒くなります。皮膚感覚は熱く、体温が上がっても汗が出ず、めまい・頭痛・吐き気などを伴います。

熱射病…顔は青白く、大量の汗をかきます。皮膚感覚は冷たく、めまい・吐き気を伴います。

なぜ子どもは熱中症になりやすい？

子どもは体温調節がうまくできず、温度変化の影響を受けやすく、また衣服の着脱も水分補給も一人で行うのが難しいため、容易にかかりやすいのです。

<車や家の中でも熱中症になります>

特に車中では、気温が高なくても高温になるので、子どもを一人にするのは絶対に避けましょう。

<予防のポイント>

- 日中は帽子をかぶって外出をしましょう。日除けのあるベビーカーも照り返しで暑くなるので、散歩はできるだけ短時間で切り上げましょう。
- 炎天下での遊びは、長時間に及ばないように注意しましょう。海や屋外プールなどの水辺でも、30分毎に日陰で休息をとるようにしましょう。
- 肩まで隠れる、吸湿性、吸水性に優れた衣服を選びましょう。
- 水分補給は、電解質の入っている経口補水液などの飲み物を与えましょう。



ベビーカーの注意点



ベビーカーに乗っている子どもは地面に近い位置にいるので、体感温度は大人より2～3℃高いと言われています。散歩をする時は、涼しい時間帯を選び、照り返しの少ない土の路面にしましょう。

日除けの屋根が付いていても、夏場は30分以内にとどめ、子どもの様子を時々チェックしながら、脱水症状を起こさないよう、水分補給はこまめに行いましょう。

～利用の注意事項～

- ☆ 保育中に病状が悪化し緊急を要するときは、保護者の了解を得ないまま病院受診し、治療が行われることがあります。また、保育の継続が困難となった場合は、予定時間前でもお迎えをお願いします。
- ☆ 予約があっても当日の病状で、保育不可と診断された時は、お預かりできません。
- ☆ キャンセルは、できるだけ早めにご連絡ください。(利用当日9時00分まで)
- ☆ お弁当・おやつ・水分(水筒)など、お子さんの症状に合わせてご用意ください。特に小さいお子さんは、状況に応じての提供になりますので、少し多めにお願いします。

予約・利用申込みに関するお問合せ 多古病児保育所 ☎0479-74-3375

〒289-2241 千葉県香取郡多古町多古 388 番地 1

